

日高教育局

通信

第3号

発行日 平成27年5月25日

広域人事&地域枠の異動教員を訪問しました



門別中：菊地教諭



様似小：早川教諭(左)、阿部教諭(右)

「広域人事」及び「地域枠」の異動にて、平成27年4月に日高管内に転入された先生方の学校を訪問しました。

3年間の広域人事を終えて戻られた3名の方々は、本制度の2期目に応募いただいた先生になります。また、地域枠での異動者4名は、平成23年からスタートした新たな選考区分により採用された1期生です。

お話を伺った中から、その一部をご紹介します。

◆日高門別中 菊地 久美子教諭 (広域：滝川市明苑中)

－滝川市明苑中での担当は？

「特別支援学級担任でした。特学担当が7人おり、チームとしての動きがあったことがとても勉強になりました」

－日高に戻ってきて、実践したいことは？

「今年度は特学担当なので、滝川での取り組みを実践し、今後は普通学級の担任を持ちたいです。また、中堅職員として、学校内の調整的な役割も担っていききたいと思います」

－本事業に応募してよかったことは？

「研修・講座に参加しやすい環境でした。司書教諭講習や社教

主事講習なども受講しました」

<所属長 菅原校長から>

「今後は特別支援コーディネーターなど学校を見渡す役割を与え、教科や特支、学校運営などの道を選択できる実力をつけさせたい」

◆様似町様似小 阿部 雅俊教諭 (地域枠：伊達市伊達西小)

同 早川 藍教諭 (地域枠：帯広市栄小)

－いよいよ、日高での勤務が始まりましたね！

早川「はい！私の育った地域で、教員として働けることが喜びです」

－学校の雰囲気はどうですか？

阿部「保護者・地域の関心度が高いと思います。地域と一緒にやる雰囲気が新鮮です」

－なにか不安なことは？

阿部「仕事面も生活面も不安はあったが、地域が違っても基本的なことは変わらなかった。安心しました。体調もよいです」

<所属長 田中校長から>

「様似町は若手が多い地域。若手を『学校の中核を担う近い将来のミドルリーダー』という観点で育成したい」

■局長挨拶■

日高教育局長 北村 善春



「広域人事・地域枠採用」の皆様へ

平成27年度がスタートしました。広域人事、地域枠採用により他管内に御勤務されている皆様におかれましては、お元気に御活躍のこととお喜び申し上げます。

さて、今年度最初の日高教育局通信の発行に当たり、日高教育改革の推進に向けての思いを述べさせていただきます。

私は、過日先進的な教育を推進している本州の学校を視察してまいりました。それらの学校では、子どもたちが将来生きていく社会において求められる能力等を明確にした上で、ICT機器や外部の教育資源をフル活用しながら、世界的視野で教育の高度化に取り組んでいました。そして、教職員一人一人のレベルにまで教育改革の方向性や自校の学校経営方針が落とし込まれ、相当なスピードで、高品質な授業や高度な内容の学校外での講座の受講などが展開されていました。

そのような教育を受けた子どもたちと日高管内の教育を受けた子

どもたちは、いずれ一緒に社会で職業人として生きていくことになります。

このことを踏まえれば、今こそ、私たちは、「教育の質の向上は限界なくどこまでも追究する姿勢を重視するLimitless」の精神をもって、次の段階の日高教育改革を推進しなければなりません。

管内教育推進の重点の資料も同封いたしましたので、是非一読いただき、日高管内教育の目指すところを御理解いただきたいと思います。

皆様におかれましては、各勤務校において、校長先生や教頭先生をはじめ、職場の皆様の指導の下、教育者としての指導力を高めておられるものと推察しており、いずれ、日高教育改革の中核として活躍していただくよう、その成果に大きく期待しているところです。

当教育局としましては、今年も、局長をはじめ教育局職員が皆様の勤務校に伺い、教育実践の様子を拝見するとともに、お話を伺う機会を設定したいと考えていますので、よろしく願います。

皆様の御活躍と御健勝を祈念申し上げます。

発行元

北海道教育庁日高教育局
企画総務課教職員係
〒057-8558
北海道浦河郡浦河町
栄丘東通56号
(0146)22-9483
URL:<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/hdk/>

